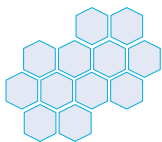


2023年2月期第2四半期 決算説明会

2022年10月14日

代表取締役社長 河田 淳

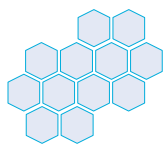


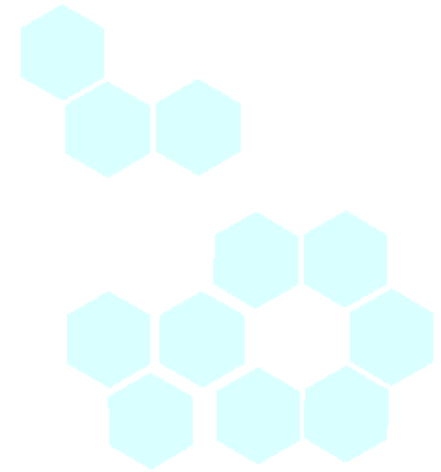
-
1. 2023年2月期第2四半期 決算概要 . . . P.3

 2. 2023年2月期 業績見通し . . . P.18

 3. 中本グループを取り巻く状況と
2023年2月期の重点取り組み . . . P.23

 4. 参考資料 . . . P.32
-





2023年2月期第2四半期 決算概要

2023.2期 第2四半期累計 連結業績

第2四半期累計の連結売上高は増収となるも、
連結営業利益は減益。

連結売上高：21,823百万円（前年同期比+7.9%）

連結営業利益：1,091百万円（前年同期比▲20.9%）

- 冷凍食品・乳製品・総菜・豆腐用包材が好調に推移し食品関連は増収。
- IT・工業材関連では各種加工フィルムが電子材料、スマートフォン端末、電子部品パッケージ材料向けで堅調に推移。
- 電力費や燃料費、インキ代などの製造コスト上昇により減益。

海外事業拡大の一環で、ベトナムに法人設立 自動車内装材の製品出荷を開始



2021年3月完成

経過（2022年8月時点）
2020年5月：法人設立
2021年3月：工場完成
2022年7月：製品出荷開始

製造品目

IT・工業材関連

自動車内装材、圧縮袋

生活資材関連

を中心に製造開始



市場拡大が期待される東南アジアでの積極展開とリスク分散を図る。
自動車内装材の一部製品のサンプル出荷開始。

第2四半期決算ハイライト

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2022.2期 2Q累計 実績	2023.2期 2Q累計					
		実績	前年同期比		計画	計画比	
			差額	比率		差額	比率
売上高	20,234 (100.0%)	21,823 (100.0%)	+1,588	+7.9%	21,186 (100.0%)	+637	+3.0%
売上総利益	3,596 (17.8%)	3,397 (15.6%)	▲199	▲5.5%	3,679 (17.4%)	▲281	▲7.6%
販管費	2,216 (11.0%)	2,305 (10.6%)	+89	+4.1%	2,412 (11.4%)	▲106	▲4.4%
営業利益	1,380 (6.8%)	1,091 (5.0%)	▲288	▲20.9%	1,267 (6.0%)	▲175	▲13.8%
経常利益	1,534 (7.6%)	1,392 (6.4%)	▲141	▲9.2%	1,307 (6.2%)	+85	+6.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	858 (4.2%)	915 (4.2%)	+57	+6.7%	818 (3.9%)	+96	+11.8%
設備投資額*1	735 (3.6%)	611 (2.8%)	▲124	▲16.9%	1,363 (6.4%)	▲752	▲55.2%
減価償却費*2	634 (3.1%)	643 (2.9%)	+8	+1.3%	677 (3.2%)	▲34	▲5.0%

*1：設備投資額には建設仮勘定は含まない *2：のれん償却額含まない

(注)換算レート 2023.2期2Q 20.4円/元 136.7円/ドル

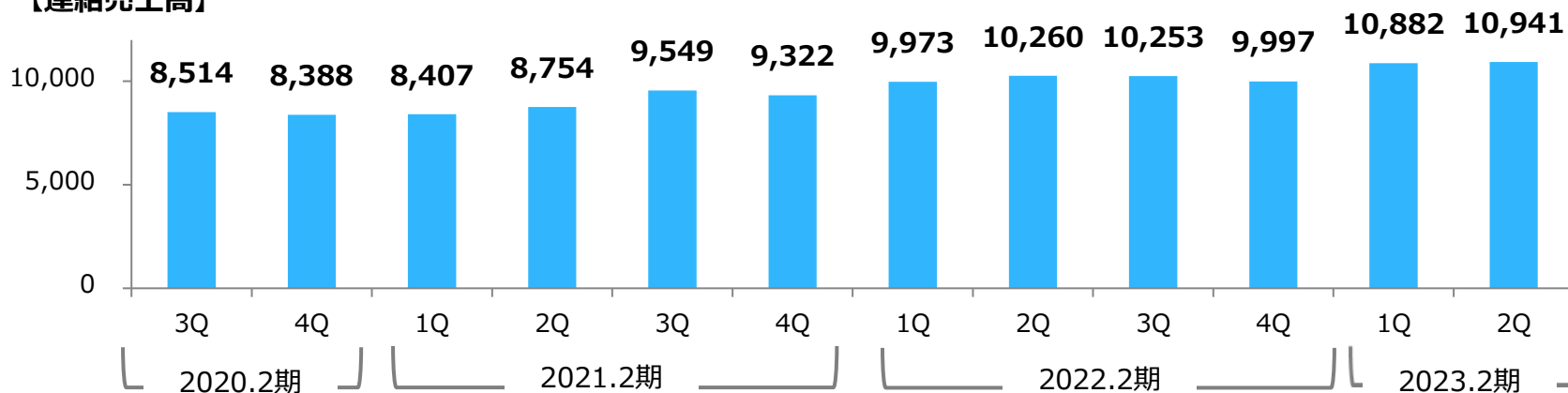
第2四半期決算ハイライト

四半期毎 売上・営業利益推移

- ・ 2022年2月期は国内・国外子会社の業績が好調であったことと、生産効率改善や営業活動の成果により前年同期を上回った。
- ・ 2023年2月期は第1四半期、第2四半期ともに増収も、製造コストの上昇などの影響を受け減益となった。

【連結売上高】

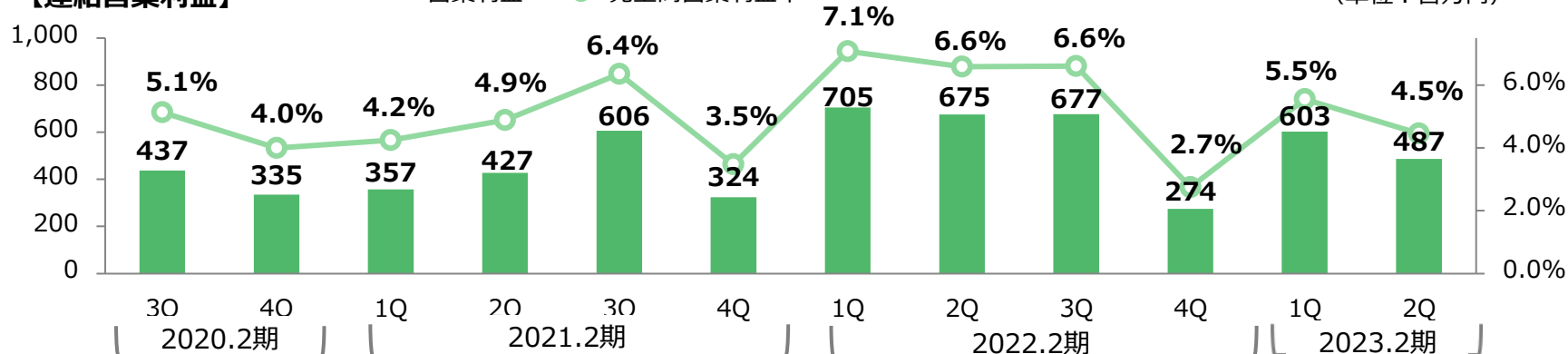
(単位：百万円)



【連結営業利益】

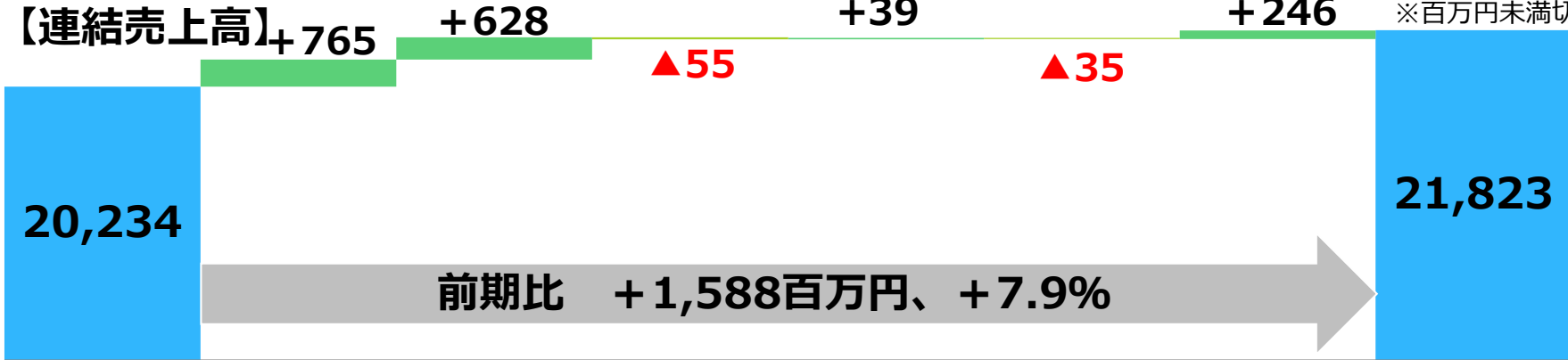
■ 営業利益 ● 売上高営業利益率

(単位：百万円)



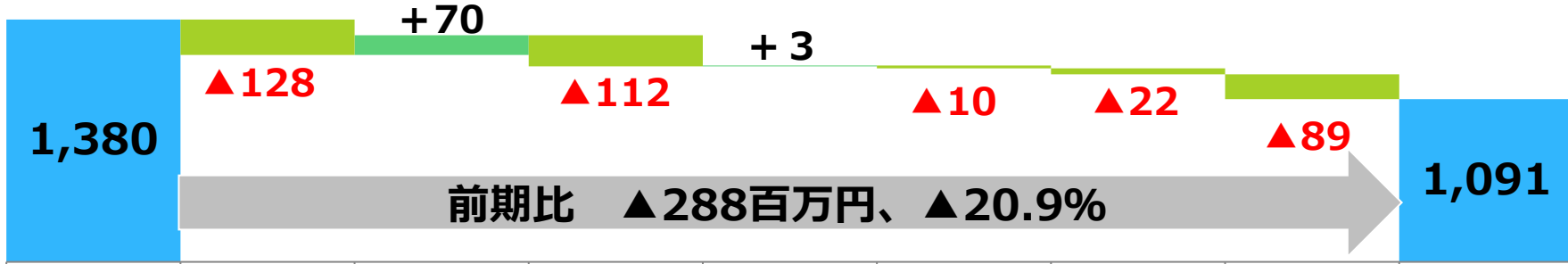
売上高・営業利益増減要因 (前期比) 中本パックス株式会社

(単位：百万円)
※百万円未満切捨



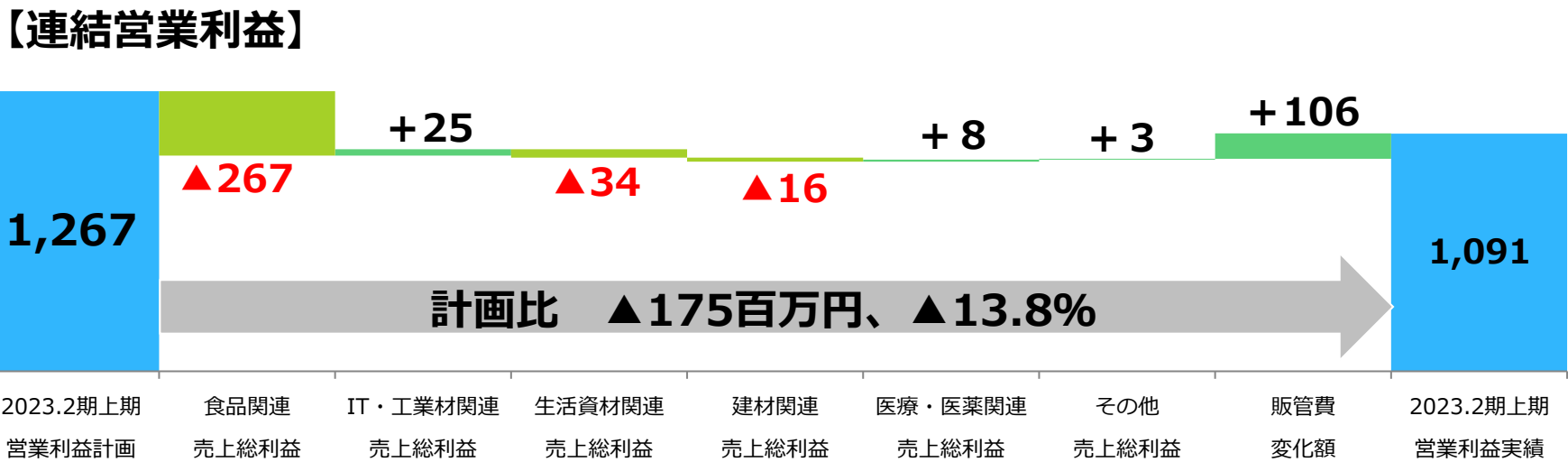
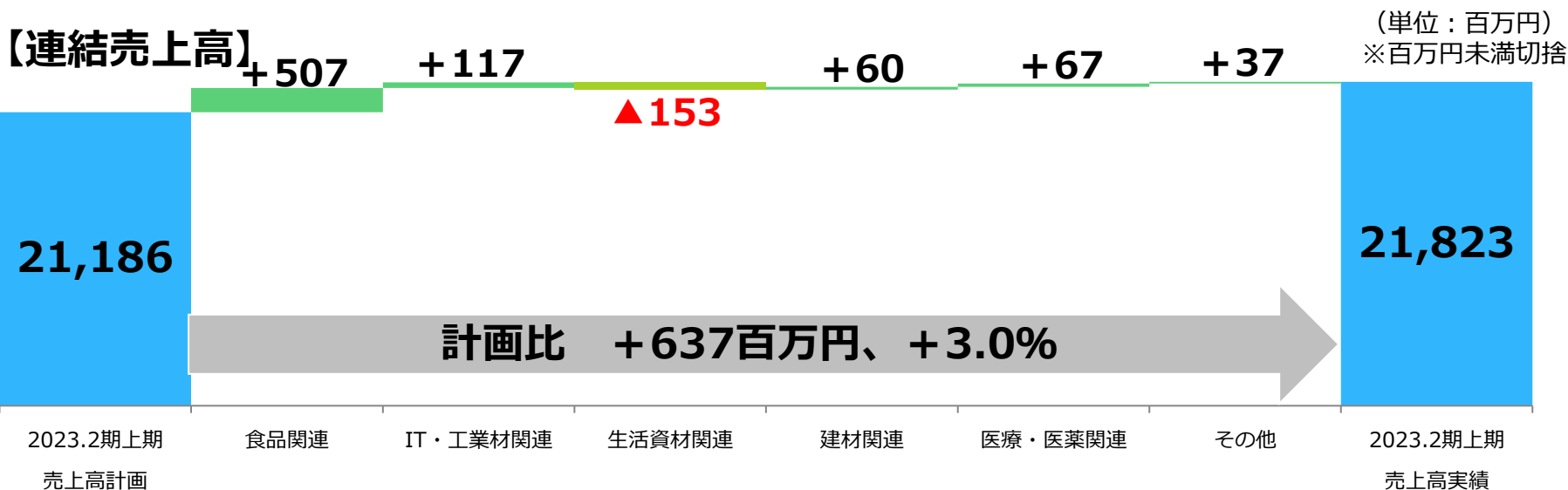
2022.2期上期 売上高実績 2023.2期上期 売上高実績

【連結営業利益】



2022.2期上期 営業利益実績 2023.2期上期 営業利益実績

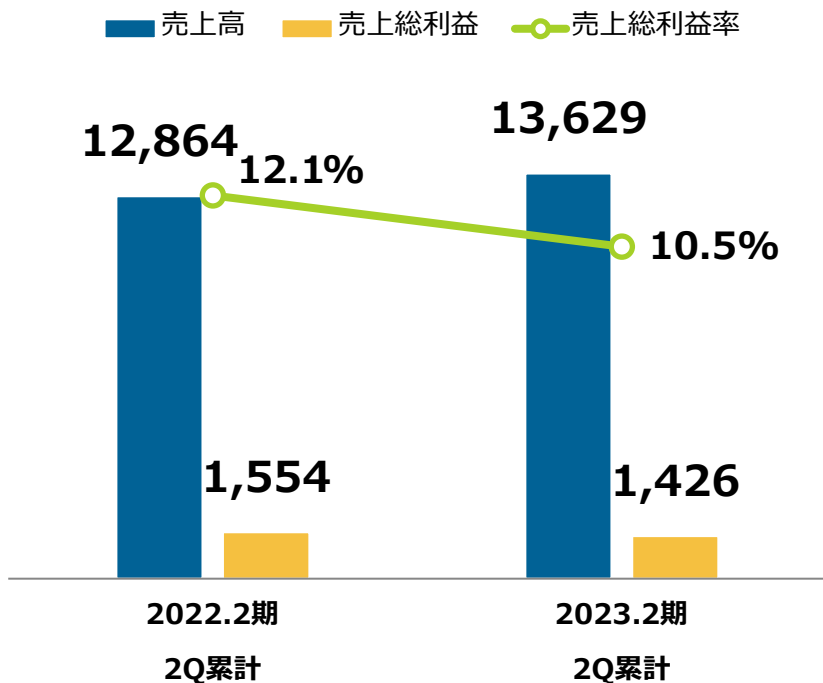
売上高・営業利益増減要因 (計画比) 中本パックス株式会社



用途別状況 食品関連

食品関連

(単位：百万円)



当社製品 採用例



パスタ容器



弁当容器 イメージ

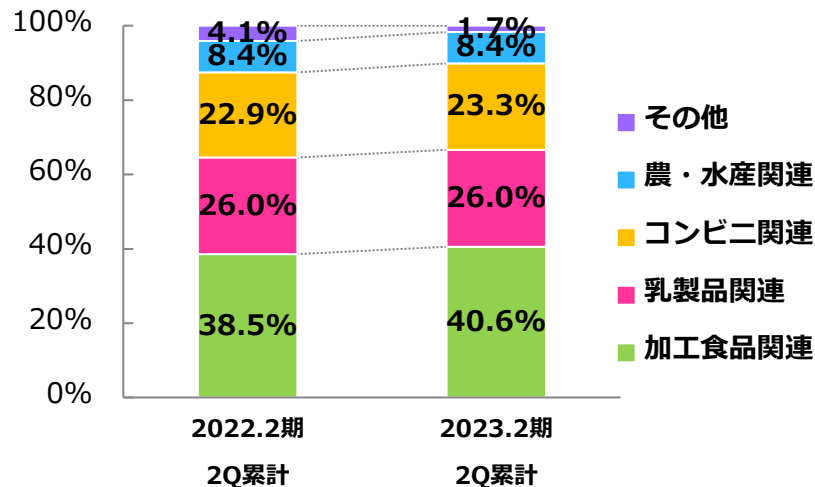


飲料蓋

■ 主要製品別販売状況

加工食品関連	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍食品、総菜、豆腐用包材好調 ・デバ地下向け商材、菓子用包材は回復傾向
乳製品関連	<ul style="list-style-type: none"> ・市販用ヨーグルト、チーズ包材好調
コンビニ関連	<ul style="list-style-type: none"> ・容器包装関係が好調
農・水産関連	<ul style="list-style-type: none"> ・農産向けフードパック堅調

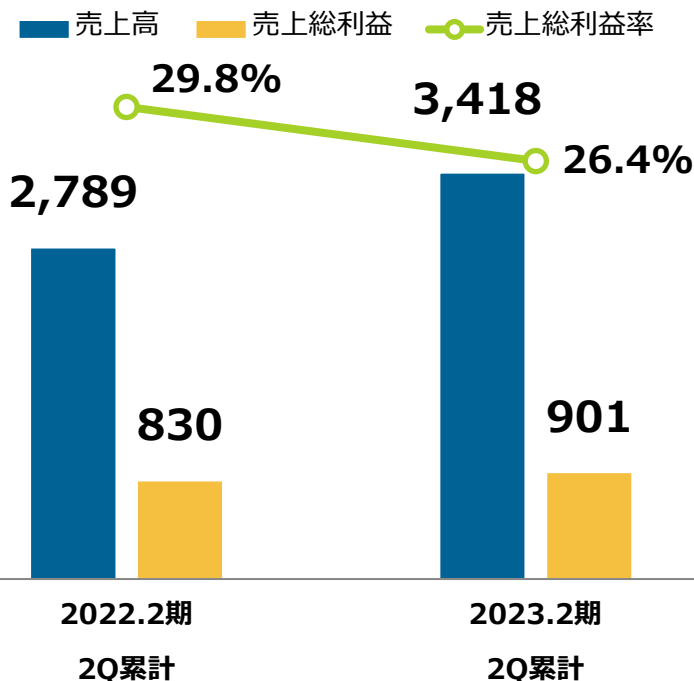
■ 主要製品別販売構成比（連結）



用途別状況 IT・工業材関連

IT・工業材関連

(単位：百万円)



当社製品 採用例



各種工程フィルム



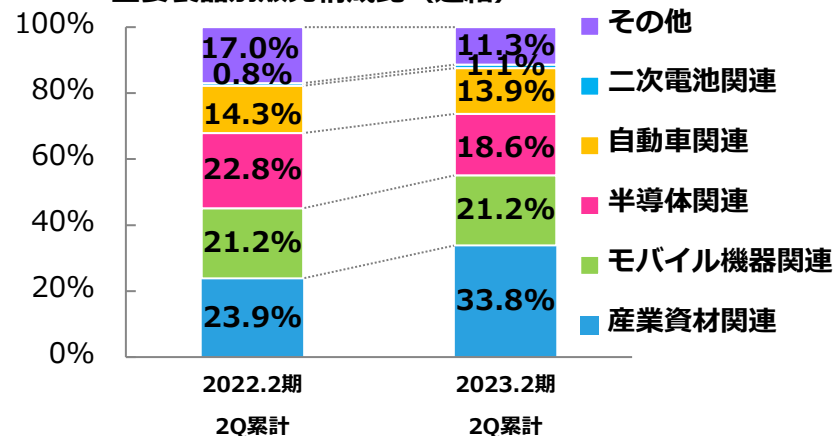
NSセパ

■ 主要製品別販売状況

産業資材関連	・ EC関連資材、石化産業向け重袋等が増加
モバイル機器関連	・ スマホ向け受託案件好調
半導体関連	・ 電子部品パッケージ材料向けは堅調に推移 ・ 半導体不足の影響を受け一部関連商材は減少
自動車関連	・ 自動車メーカーの減産により減少
二次電池関連	・ 現状スポット案件のみ
その他	・ 各種開発案件が増加

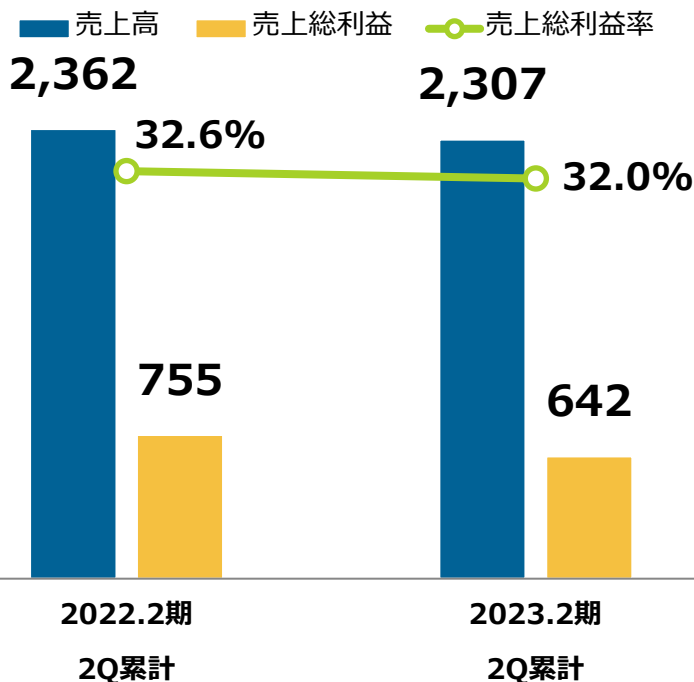
※主要製品別の括りの見直しを行いました。
2022.2期も同様の基準で遡及して修正しています。

■ 主要製品別販売構成比 (連結)



生活資材関連

(単位：百万円)



当社製品 採用例



エアコン室外機
用遮熱シール

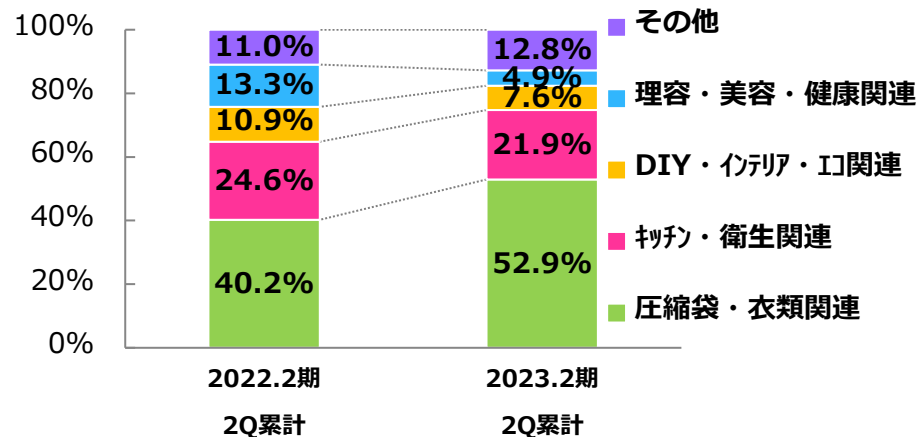


キッチンまな板
シート

■ 主要製品別販売状況

圧縮袋・衣類関連	・TV通販向けの商材が増加
キッチン・衛生関連	・まな板シートの需要は一巡もキッチン関係全体は好調 ・ホームセンター向け衛生関連商品が減少
DIY・インテリア・工関連	・季節ものの商材が減少傾向
理容・美容・健康関連	・ヘルスケア関連の包材が減少

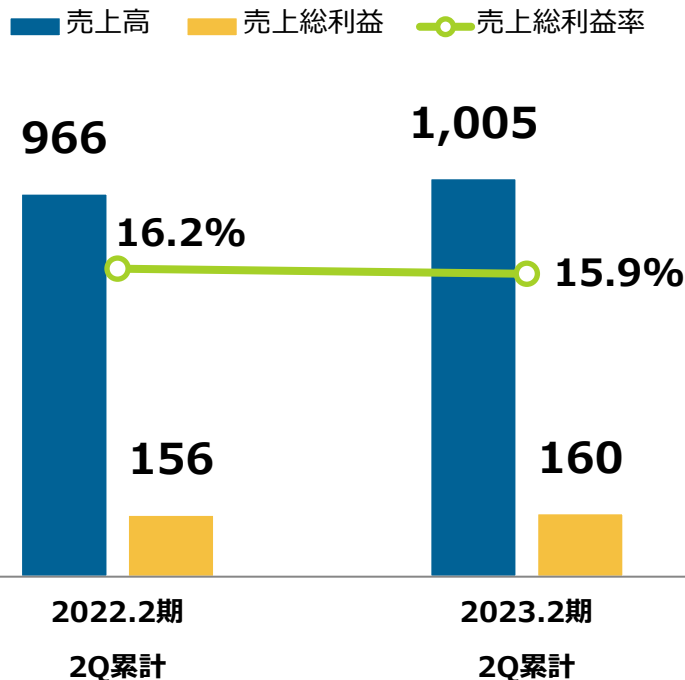
■ 主要製品別販売構成比 (連結)



用途別状況 建材関連

建材関連

(単位：百万円)



当社製品 採用例



キッチン



クローゼット

■ 主要製品別販売状況

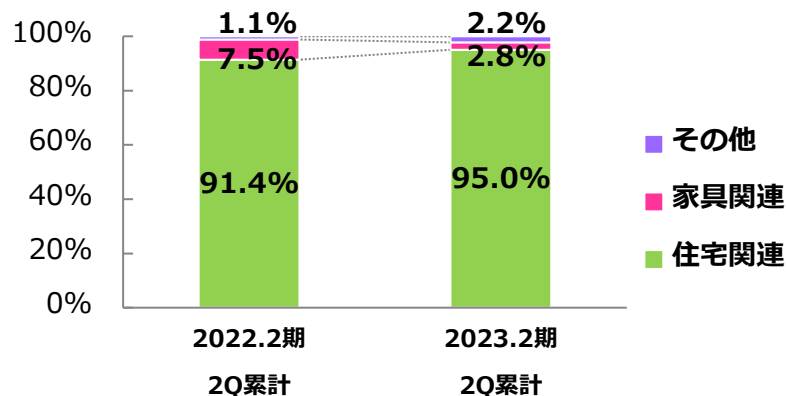
住宅関連	・戸建て、集合住宅向けの表面機能コーティングを施した建材が堅調
家具関連	・海外向け案件が減少

■ Nコート

Nコートはポリプロピレン系の合成紙であり、水に強い性質を活かし、主に自動販売機用のラベル、床材に使用されている。



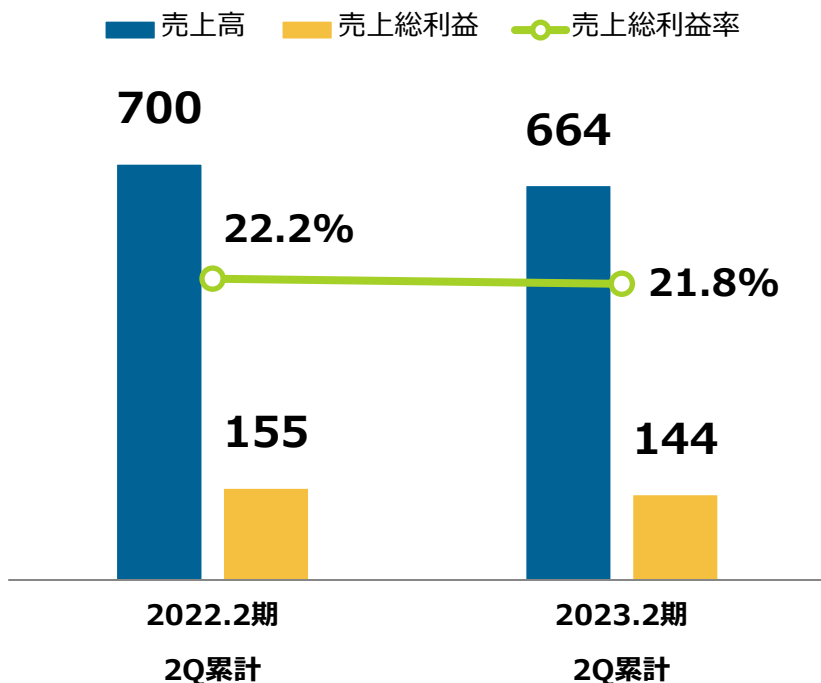
■ 主要製品別販売構成比（連結）



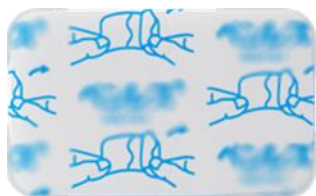
用途別状況 医療・医薬関連

医療・医薬関連

(単位:百万円)



当社製品 採用例



麻酔テープ



フェイスシールド

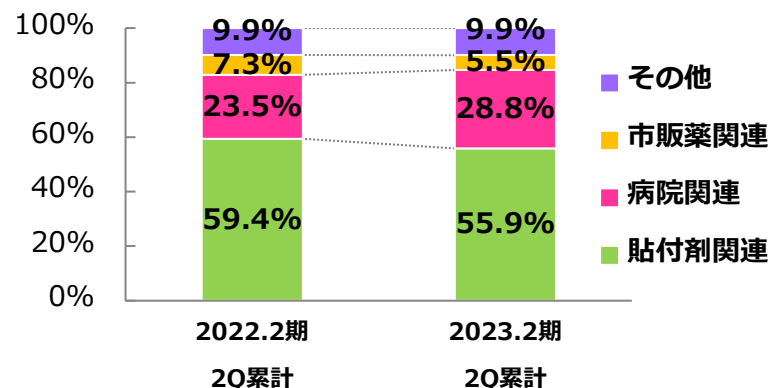


輸液用遮光カバー

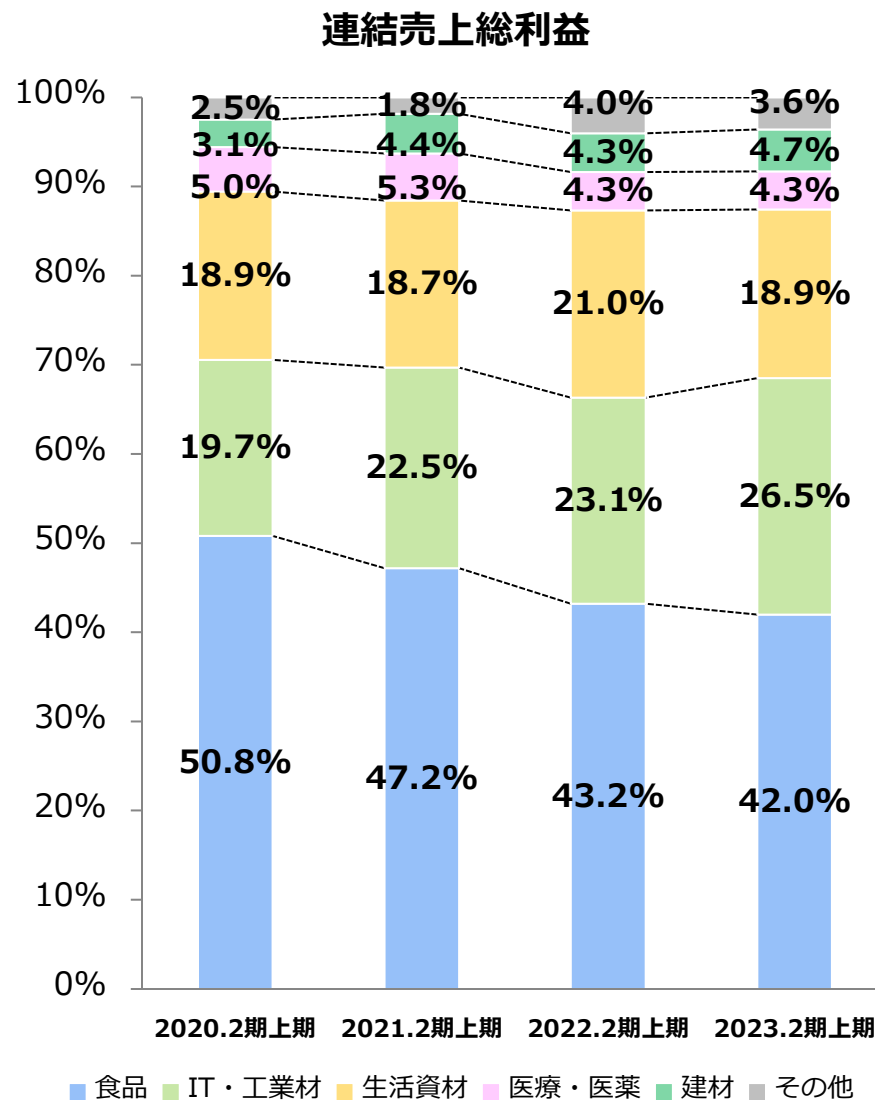
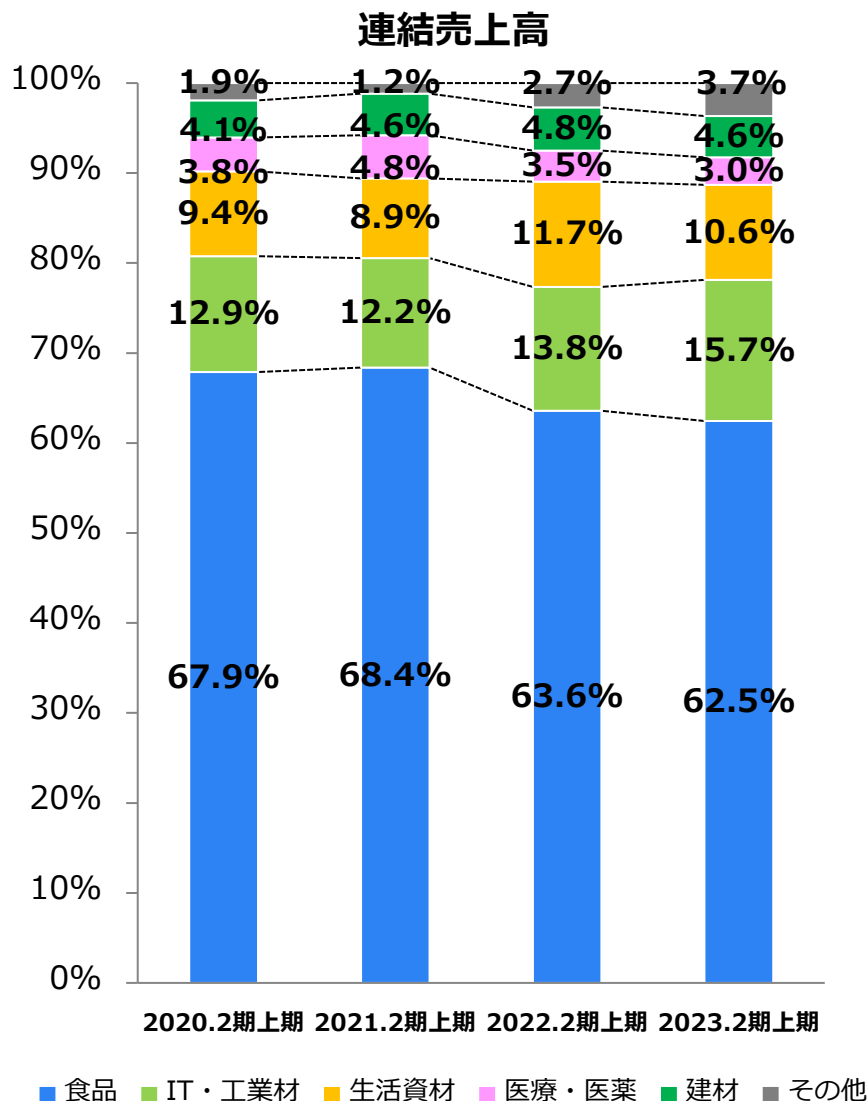
■ 主要製品別販売状況

貼付剤関連	<ul style="list-style-type: none"> 先発医薬品が昨年より減少し、ジェネリック中心に 薬価改定などにより販売単価が下落 一部の製品で原材料が高騰
病院関連	<ul style="list-style-type: none"> 輸液関係包材が堅調
市販薬関連	<ul style="list-style-type: none"> 市販薬用包装材は減少

■ 主要製品別販売構成比 (連結)



用途別売上高・売上総利益構成比の推移



資産・負債の状況

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2022.2末	2022.8末		
			前期末比差額	主な増減要因
流動資産	18,801 (55.4%)	20,157 (57.2%)	+ 1,355	受取手形、売掛金及び契約資産 + 1,055 電子記録債権 + 242、棚卸資産 + 432、 現金及び預金▲443
固定資産	15,132 (44.6%)	15,100 (42.8%)	▲32	
資産合計	33,934 (100.0%)	35,257 (100.0%)	+ 1,323	
流動負債	15,674 (46.2%)	15,932 (45.2%)	+ 257	支払手形及び買掛金 + 329、 電子記録債務 + 363、短期借入金▲317、 その他▲137
固定負債	2,582 (7.6%)	2,587 (7.3%)	+ 4	長期借入金 + 22
負債合計	18,257 (53.8%)	18,519 (52.5%)	+ 261	
純資産合計	15,676 (46.2%)	16,737 (47.5%)	+ 1,061	利益剰余金 + 671、為替換算調整勘定 + 385
負債・純資産合計	33,934 (100.0%)	35,257 (100.0%)	+ 1,323	
ネット有利子負債	3,107 (9.2%)	3,251 (9.2%)	+ 143	長期借入金 + 22、現金及び預金▲443 短期借入金▲317

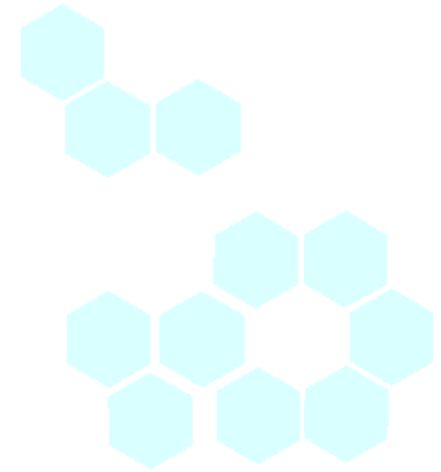
ネット有利子負債 = (有利子負債 - 現金及び預金)

キャッシュ・フローの状況

(連結)

(単位：百万円)

	2022.2期 2Q累計 実績	実績	2023.2期 2Q累計
			概要
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,950	271	税金等調整前四半期純利益+1,463、減価償却費+643、仕入債務+504、為替差益▲166、売上債権▲948、棚卸資産▲423、未払消費税等▲91、その他▲152、法人税等の支払額▲559
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,064	▲120	固定資産の売却による収入+363、固定資産の取得による支出▲525
フリー・キャッシュフロー	885	151	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲449	▲783	長期借入れによる収入+400、短期借入金▲429、長期借入金の返済による支出▲376、配当金の支払額▲270
現金及び現金同等物の換算差額	92	188	
現金及び現金同等物の増減額	528	▲443	
現金及び現金同等物の期首残高	3,707	4,792	
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,235	4,348	



2023年2月期 業績見通し

当期の業績見通し（概況）

第2四半期まで

食品関連

- ・ 冷凍食品、乳製品、総菜向け包材好調
- ・ テイクアウト、デリバリー用の容器・トレー向け需要は落ち着く
- ・ 菓子包材、デパ地下向け包材は回復傾向

IT・工業材関連

- ・ スマホ向けなど各種加工フィルムは堅調、EC関連資材増加
- ・ 半導体不足の影響で一部関連商材減少

生活資材関連

- ・ 「予防掃除」「ラク家事」がテーマのハウススタイル商品好調

建材関連

- ・ 表面機能コーティング加工堅調
- ・ 壁紙や住宅建具類印刷増加

医療・医薬関連

- ・ 貼付剤はジェネリック中心
- ・ 薬価改定により販売単価下落

現況・第3四半期以降

- ・ 機能性包材、環境対応包材の取組強化
- ・ 行動規制の緩和、インバウンドによる需要回復に期待
- ・ 引き続きエネルギーコスト上昇の影響を受ける。価格転嫁急ぐ

- ・ 電子部品関係の市況悪化の影響続く
- ・ 受託加工、EC関連は堅調
- ・ 成長分野の試作・量産化推進

- ・ 各販売チャネルでの自社商品ファンを増やす活動推進

- ・ 既存案件の生産効率向上
- ・ 新機能性建材への取組推進

- ・ 輸液関係の新規案件獲得に注力

当期の業績見通し

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2022.2期 実績	2023.2期 計画	2023.2期 前期比	
			差額	比率
			売上高	40,485 (100.0%)
売上総利益	6,889 (17.0%)	7,346 (17.3%)	+456	+6.6%
販管費	4,557 (11.3%)	4,800 (11.3%)	+242	+5.3%
営業利益	2,332 (5.8%)	2,546 (6.0%)	+213	+9.2%
経常利益	2,585 (6.4%)	2,600 (6.1%)	+14	+0.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,470 (3.6%)	1,529 (3.6%)	+59	+4.0%

※2023年2月期以降の各目標数値については、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)適用後の値です

想定為替レート 17.2円/元

設備投資・減価償却費 計画

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

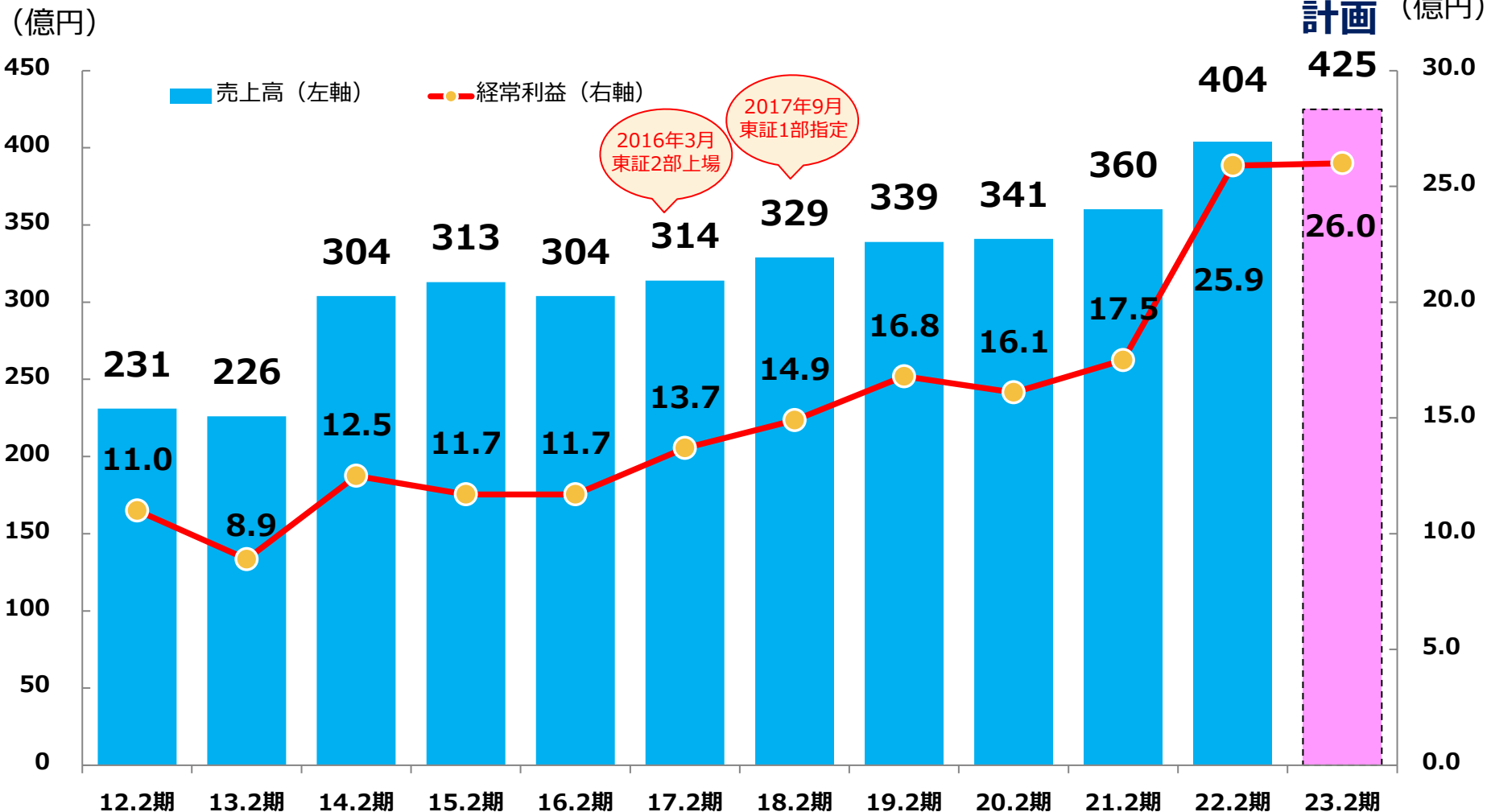
	2022.2期 実績	2023.2期 計画	2023.2期	
			前期比	
			差額	比率
設備投資額	1,336 (3.3%)	1,806 (4.3%)	+470	+35.2%
減価償却費	1,312 (3.2%)	1,422 (3.4%)	+109	+8.4%

【2023.2期の主な設備投資】

件名	内容	投資金額（億円）
工場・生産設備	工場倉庫増設（押出成形）、成型機（Iマッパックス）他	約10.1億円
IT化・システム付帯設備	新基幹システム関係他	約2.2億円
空調関連	空調設備（埼玉・竜ヶ崎・印書館等）	約1.0億円
検査・測定・分析機器	検査・測定・分析機器（名張・製版・埼玉）他	約2.3億円
その他	ハンドクレーン・ラベルプリンター他	約2.3億円

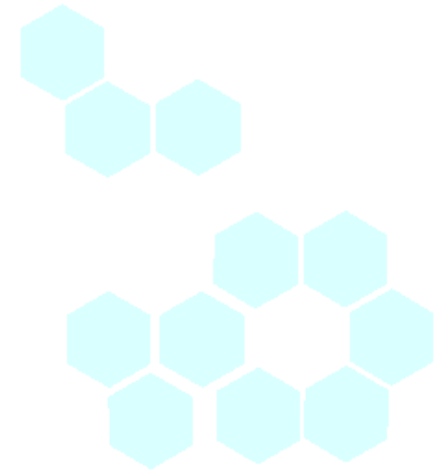
全天候型経営で安定成長

中本パックスグループ 長期業績推移



※2023年2月期以降の各目標数値については、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)適用後の値です

(注) 13.2期以前は単体、14.2期以降は連結



中本グループ^oを取り巻く状況と 中長期経営戦略

当社を取り巻く背景

人口減少

購買力低下

コンビニ
飽和

容器が
売れない

環境問題

脱プラ

紙化

シート・フィルム
印刷減少

食品
ロス問題

賞味期限
延長

トップ
シール化

軟包装化

外部要因

コロナ
問題

ウクライナ
問題

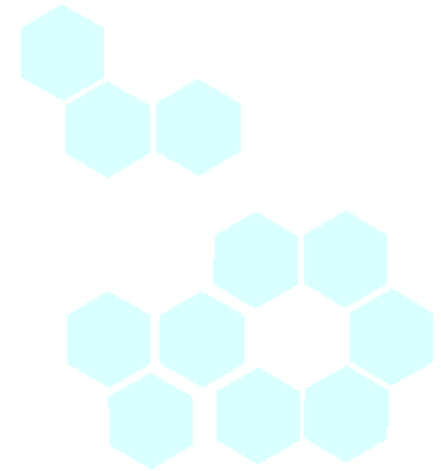
資源価格高騰
消費減退

円安

世界同時不況

中長期重点取り組み内容

<p>主力製品で ダントツシェアNo. 1</p>	<p>成型容器のフィルム印刷・シート印刷の分野で、生産設備・製造ノウハウ・顧客満足度の最大化により、シェア拡大</p>	<p>製造原価低減 主要事業・製品の 収益拡大</p>	<p>原材料 / 製造工程 / 生産設備の見直しや効率化、省力化設備の導入を行い、収益の拡大に繋げる</p>
<p>IT・工業材分野の 開発強化</p>	<p>5G関連・半導体・ディスプレイ・スマートフォン・電池など今後増加が見込まれる分野のフィルムコーティング処方開発を強化、新型コーター機投資、分析機能を強化する</p>	<p>積極的なM&A</p>	<p>規模の拡大、将来必要な技術、商権、生産設備は自社努力だけに頼らずM&Aも活用して成長スピードを加速する</p>
<p>新規顧客獲得 新規製品の開発</p>	<p>技術部門、CSセンター、エンジニアリング部を活用し、新規製品開発を進め新規顧客を獲得する</p>	<p>海外事業の拡大</p>	<p>成長が見込める海外事業拡大するベトナム新工場の早期立上げとアメリカでの販路拡大を進める 3年以内に海外売上比率10%以上</p>
<p>環境経営 CO2排出削減 VOC排出削減</p>	<p>紙容器・生分解性樹脂・バイオプラなど環境対応製品の開発強化、バイオマスインキ・バイオマス接着剤・水性接着剤等の積極採用でCO2、VOC削減 リサイクル、リペレット事業強化</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">12 環境 政策 推進</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">13 環境 対応 製品</div> </div>	<p>Nブランド製品 販売50億円目標</p>	<p>2021年2月自社製造設備稼働、納期、コスト対応可能、押出技術開発室も設置し、更に環境に優しい製品開発も可能となった</p>
		<p>優秀な人材の 獲得と育成</p>	<p>新入社員採用に時間とお金を使う入社後の教育プログラムの拡充 人材育成してベースアップを図る</p>



環境経営の推進

CO2削減、溶剤使用量削減、
VOC排出量削減、石化原料使用量削減

環境貢献製品

● 生分解性ガスバリアコート



でんぷん由来の生分解性樹脂を使った紙のバリア包材を開発中

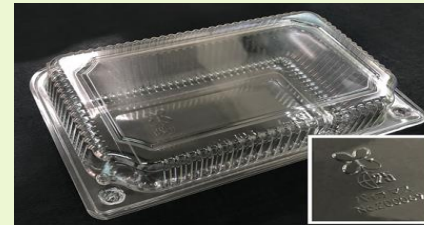
● 紙、生分解性樹脂の採用



海洋生分解性樹脂を使った製品等も開発中

環境負荷低減の取組み

● バイオマス素材の活用



バイオマスPET原料を25%含む「Bio NAK-A-PET」

● バイオマスインキ

- ・新規品・リニューアル品を中心に従来インキからの切替を推進中
- ・現状約30%前後がバイオマス or 水性インキに（2023年2月期目標50%）

● 減プラ、リサイクル

- ・プラスチック使用量を減らせる包材の提案
- ・リサイクルを容易にするモノマテリアル化推進
- ・リサイクルペレット事業の強化

自社開発製品（Nブランド製品）紹介

NAK-A-PET 食品関連

- 特徴**
- ① 高剛性なので薄肉化が可能（省資源、コストダウン可能）
 - ② リサイクル原料、バイオマス原料の配合可能
 - ③ リサイクル可能な素材、環境及び食品衛生等に配慮した設計

用途 主に菓子、農産物などのトレイ・フードパック

戦略 薄肉・高剛性の性質を訴求し、OPSシートからの置き換えを強かに推進



菓子トレイ

乾めんトレイ

NC-PET 食品関連

- 特徴**
- ① 耐熱性に優れている（220℃（但し成型条件による））
 - ② 耐寒性、保香性、剛性も高い

用途 主にグラタン等の焼成メニューの容器

戦略 焼成→冷凍・流通→解凍を移し替えなしに行えるメリットを提案



加熱

冷凍

再加熱

NSセパ IT・工業材関連 医療・医薬関連

- 特徴**
- ① 徹底したクリーン環境を実現した製造ラインにて一貫製造
 - ② 多様な用途に対応する製品ラインナップ
 - ③ 他社にない剥離力の設計やフィルム選定などカスタマイズ可能

用途 主に電子部材製造工程用フィルム、医薬貼付剤

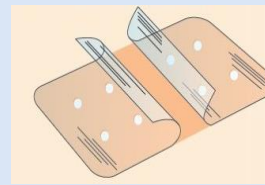
戦略 ラインアップの拡充、半導体製造工程用フィルムへの採用拡大



NSセパ



工業材用途



貼付剤

菓子・麺向けトレー



ハム向け包装



容器蓋材



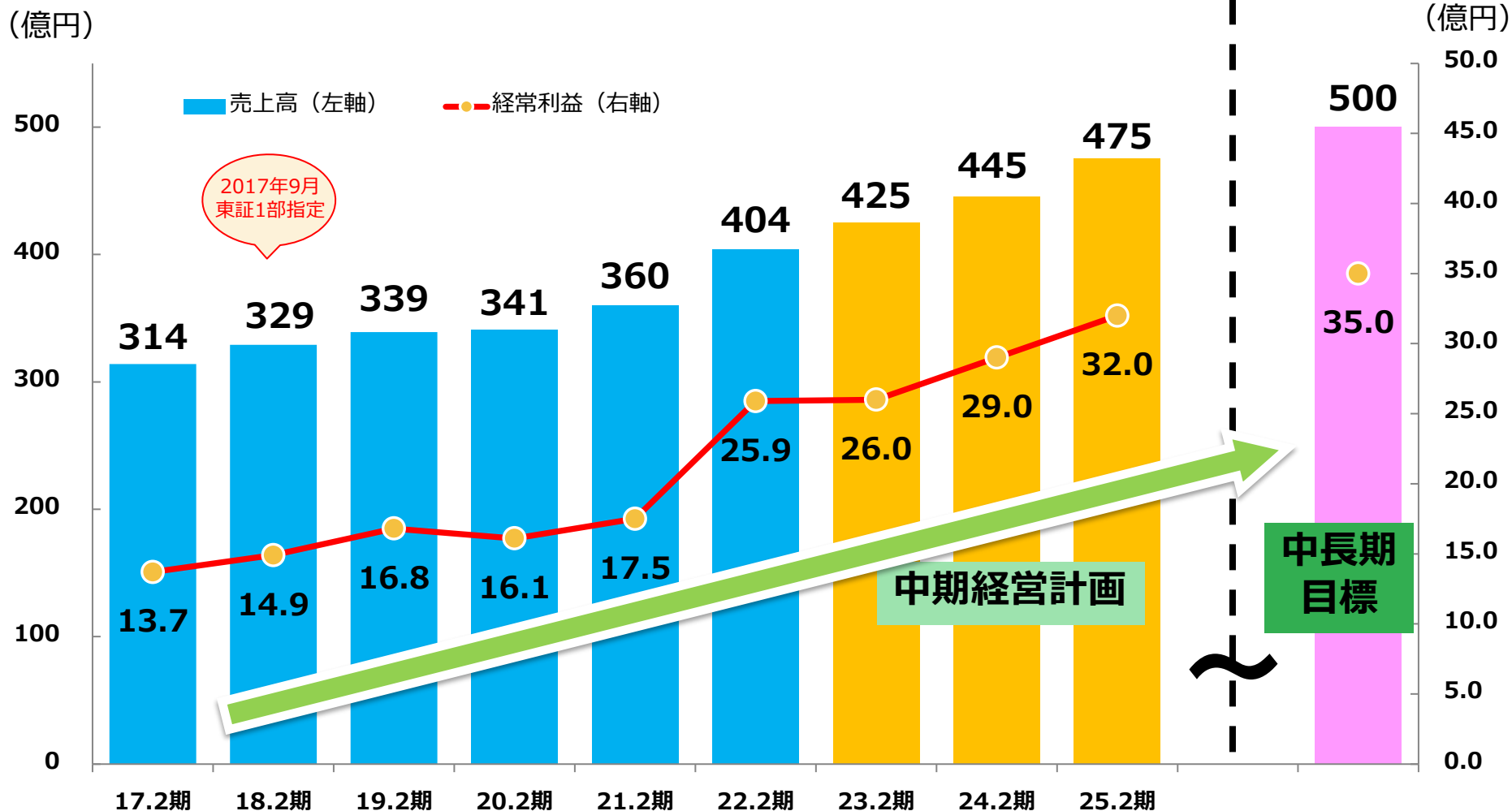
化粧品用クリアケース



その他、ステーションナリー・玩具向けなどへ展開中

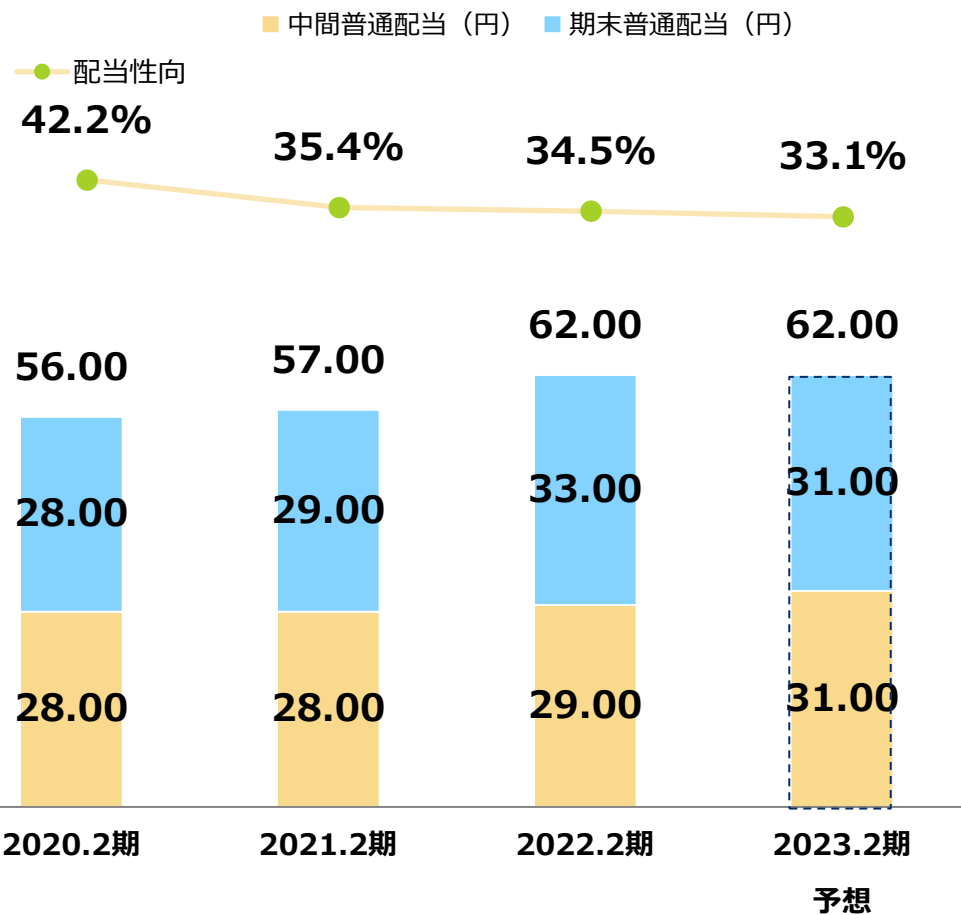
中期業績目標（連結）

中期計画を策定：売上高500億円 経常利益35億円を目指す



※2023年2月期以降の各目標数値については、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）適用後の値です

■ 必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を実施していく



【株主優待制度】

対象となる株主様

毎年2月末現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元（100株）以上保有する株主様

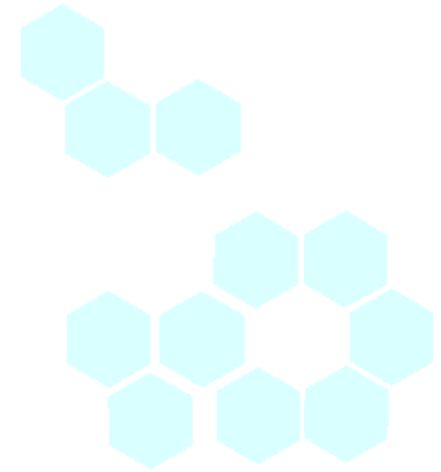
株主優待内容

100株以上200株未満 QUOカード1,000円分
200株以上 QUOカード2,000円分

贈呈時期

毎年5月末頃を予定

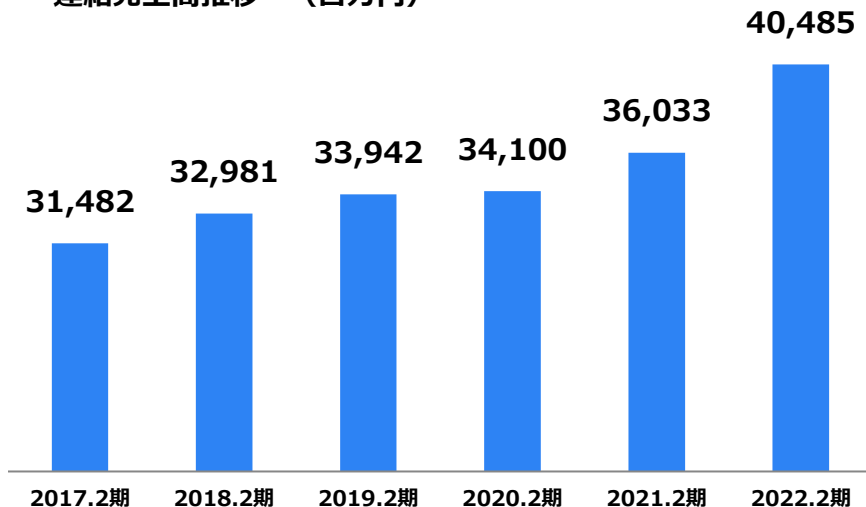




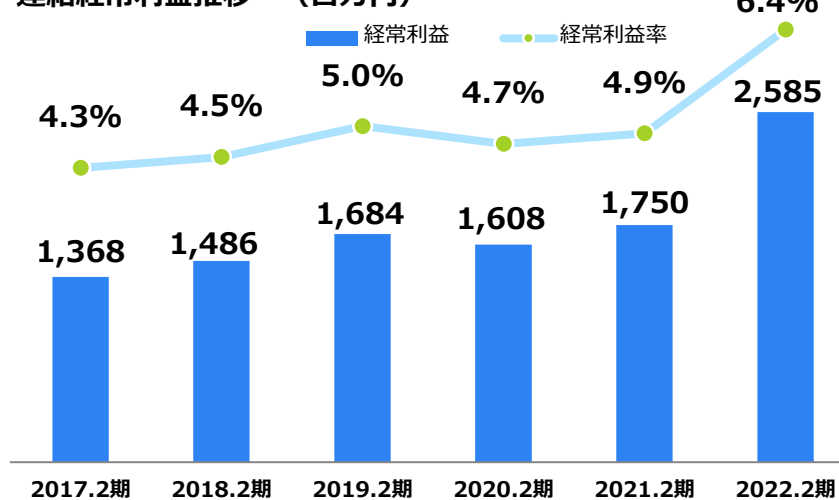
参考資料

業績推移 1/2

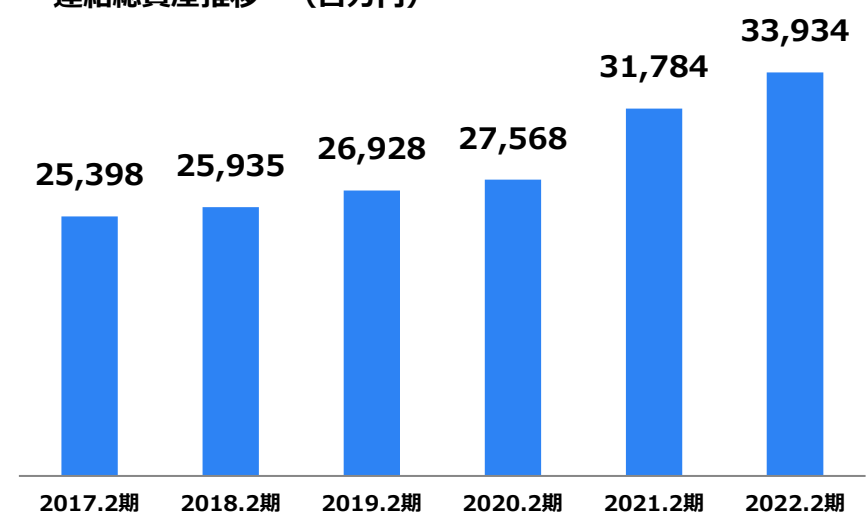
連結売上高推移 (百万円)



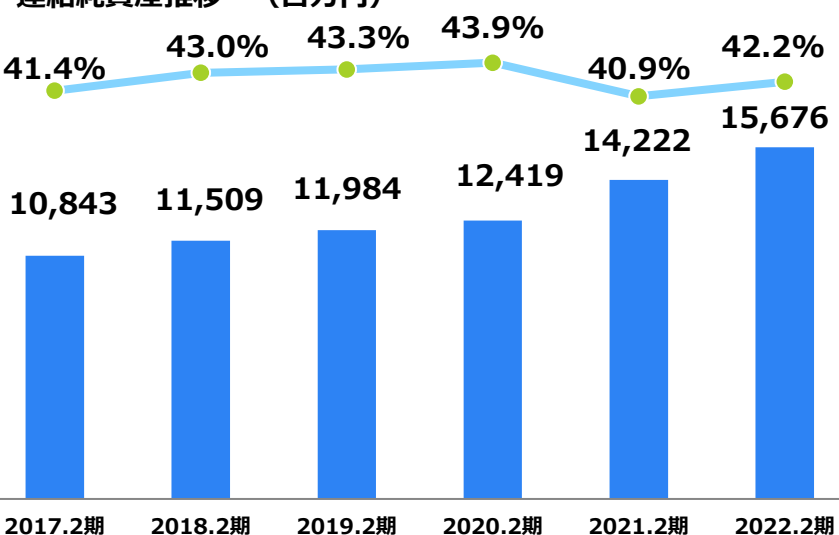
連結経常利益推移 (百万円)



連結総資産推移 (百万円)

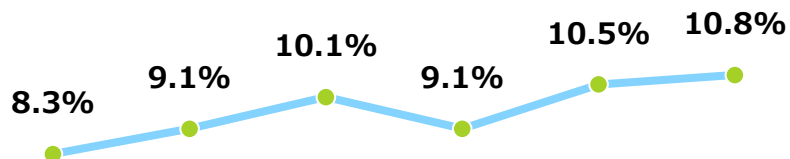


連結純資産推移 (百万円)



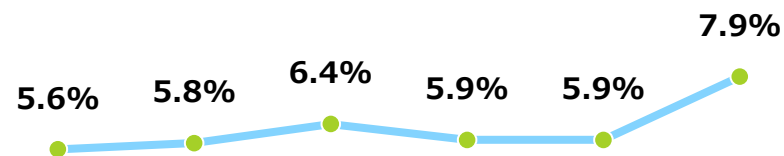
業績推移 2/2

連結ROE推移



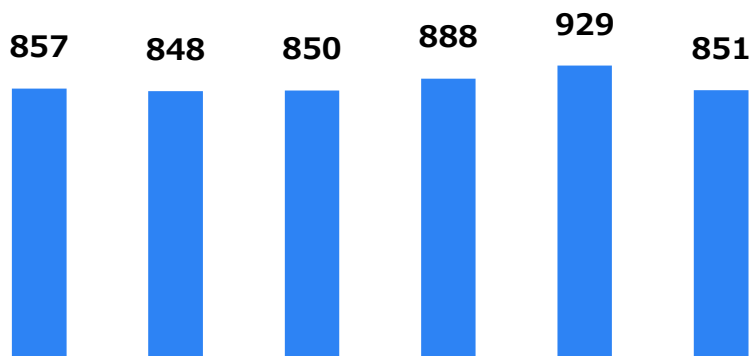
2017.2期 2018.2期 2019.2期 2020.2期 2021.2期 2022.2期

連結ROA推移



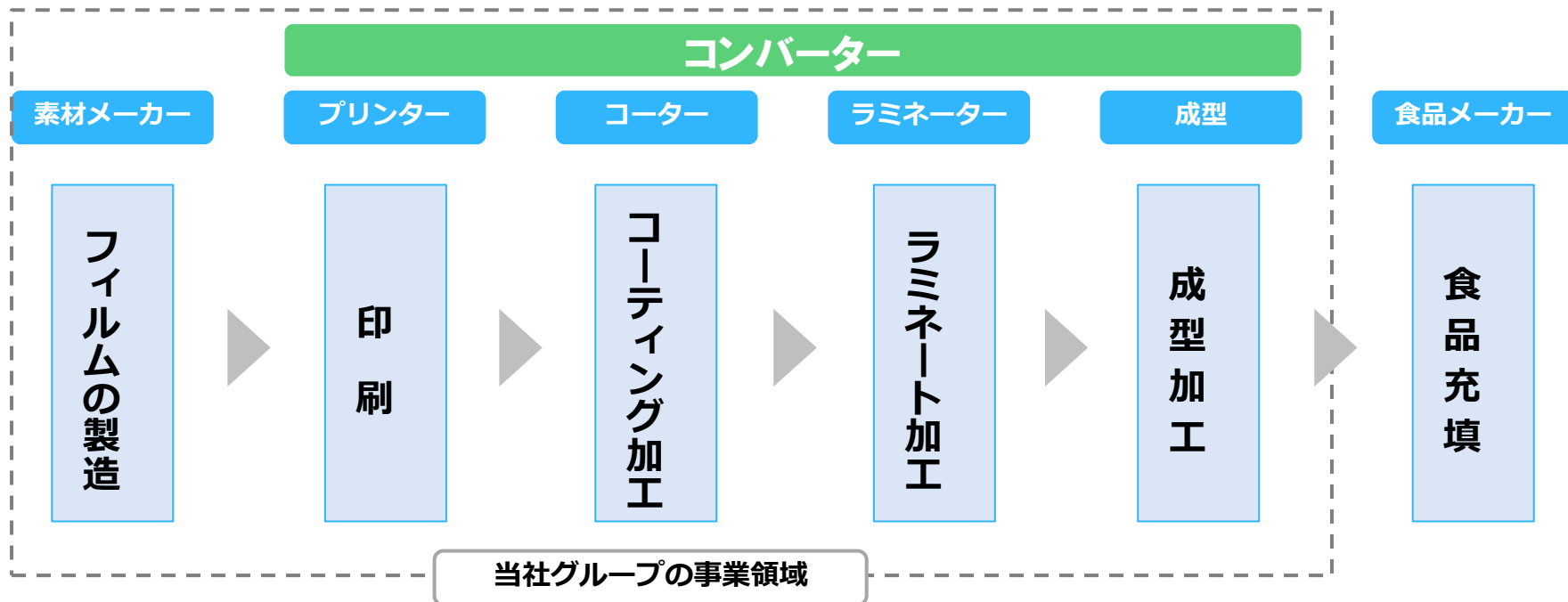
2017.2期 2018.2期 2019.2期 2020.2期 2021.2期 2022.2期

連結従業員数推移 (人)



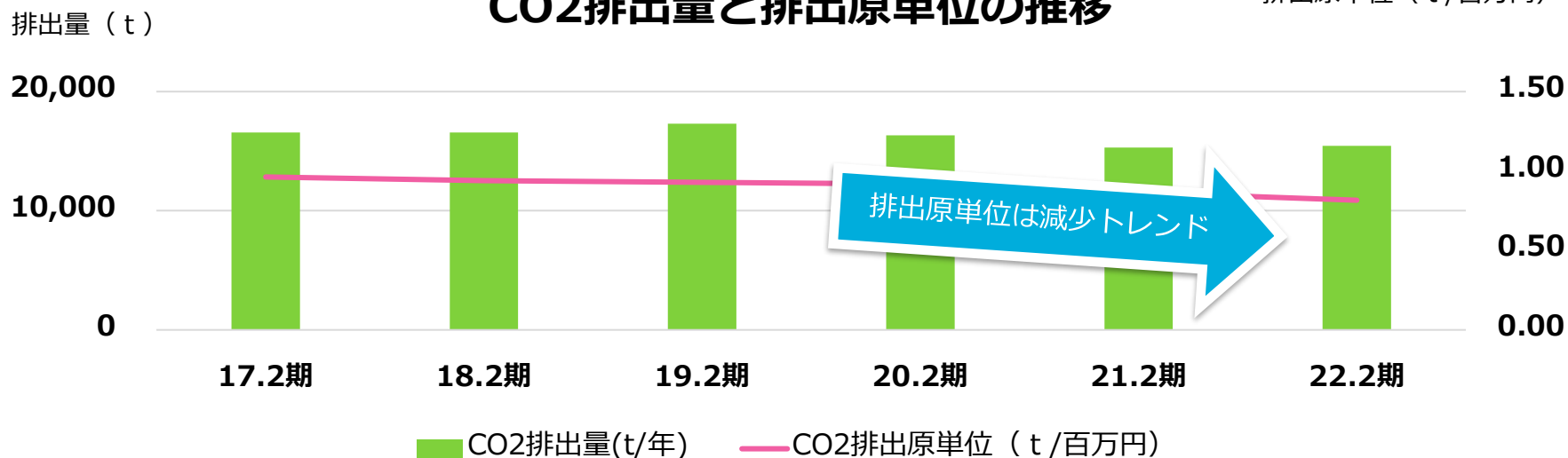
2017.2期 2018.2期 2019.2期 2020.2期 2021.2期 2022.2期

包装材印刷加工のプロセス（例）



種類	説明
グラビア印刷	凹版印刷（印刷しようとする文字や模様などの部分が凸版印刷と反対に窪んでいる版面を使う印刷）で、微細な濃淡が表現できる
ラミネート加工 （ドライラミネート及びサーマルラミネート）	包装材料の強化及び機能付加を目的として、接着剤により多層複合化すること
コーティング加工	素材表面を樹脂等の薄い皮膜で覆い、素材を保護したり、機能性を持たせること
成型加工	プラスチックシートに熱を加え、形を変えること（食品用容器、トレー、蓋等） インフレーション法により、プラスチックフィルム及びシートを製膜すること

CO2排出量と排出原単位の推移



- ・ 2022年2月期 中本パックス株式会社7工場のCO2排出量は15,442 t（前期比0.9%増）であったが、CO2排出原単位は0.82t/百万円（前期比5.7%減）となった。
※エネルギー消費量から換算

◎ CO2排出原単位の削減要因

- ・ 埼玉工場に設置した太陽光発電装置が年間を通して稼働したことにより発電量増加
- ・ 全工場の生産改善活動により生産効率が向上

“人に、環境にやさしい企業をめざして～クリーン&セイフティ～”

社是

「事業は人なり人は心なり、楽しい会社を努力と奉仕と人の和で」

経営行動綱領

- 「誠実と誠意で信用を高めよう」
- 「忍耐を以って創意工夫をしよう」
- 「自己を啓発し協調精神を養おう」
- 「共存共栄を計り社会に貢献しよう」
- 「技術向上と力闘精神を発揮しよう」
- 「礼節と報恩で喜びを得よう」

使命観6ヶ条

- 「私達は顧客の声を心を開いて聞きます」
- 「私達は印刷及び包装容器に新しい技術を蓄積し提供します」
- 「私達は社内外の連絡を密にし、スピードと誠意で納期を厳守します」
- 「私達はお得意先との共存共栄を追求し繁栄に責任をもちます」
- 「私達は感動される仕事とシステムを通じ、より多くの固定ファンをつくります」
- 「私達は運命共同体中本グループのオアシス境をつくります」

【ご注意事項】

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があります。